

アメリカシロヒトリの駆除について

● アメリカシロヒトリとは

戦後アメリカから侵入した外来種の白い小型の蛾です。幼虫（毛虫）は黒く、長い白毛で覆われ、体長は3 cm ほどです。繁殖力が強く、数百から数千の卵を産むと10日程度で幼虫になります。年に2回巣網を張って植物を食い荒らし、そのまま放置すると周囲の樹木まで丸坊主になってしまいます。

被害にあいやすい樹木は、サクラやカキ、ウメ、プラタナスなどの落葉広葉樹です。



● 発生時期

さなぎ	成虫 産卵	幼虫	さなぎ	成虫 産卵	幼虫	さなぎ
		駆除			駆除	
6月		7月	8月		9月	10月～

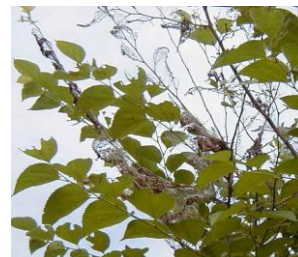
※気象条件等によって変動しますが、おおよそ表の時期に年2回発生します。

● 駆除について

* 早期段階（巣網・卵からかえったばかりの頃）

早期の駆除がもっとも効果的です！

卵からかえったばかりの幼虫は、吐いた糸で作った巣に1週間ほど留まっています。くもの巣状になっているので簡単に見つけることができるので、この時期に巣網ごと枝葉を切り取り、ごみ袋に入れて燃えるごみとして出してください。



↑巣網の状態。枝ごと切り駆除しましょう。

* 拡散後

早期に発見し、駆除を行うことが肝心ですが、発見が遅れ、すでに巣網から分散してしまった場合には、スミチオン乳剤やトレボン乳剤などの薬剤が効果的とされています。最寄りの販売店にご相談ください。散布にあたっては、使用説明書等をよく読み、隣接する住民や土地の所有者等への事前周知を行ったうえで、人や動物、作物、洗濯物などに危害を及ぼさないよう気をつけてください。散布する人も肌が露出しないよう十分に気をつけてください。

* 自ら駆除できない場合

自ら駆除できない場合は、**造園・害虫処理業者へ直接ご相談ください。**

アメリカシロヒトリには人への害はありませんが、空き地や空家などは気付かない間に発生して、隣接する土地まで被害を及ぼすケースもあります。被害発生時期の頃には所有している土地の状況について確認をしましょう。お互いの住みよい環境づくりのため、早期駆除にご協力をお願いします。

問合せ先 環境政策課 0573-66-1111 (内線 123)

kankyo@city.nakatsugawa.lg.jp